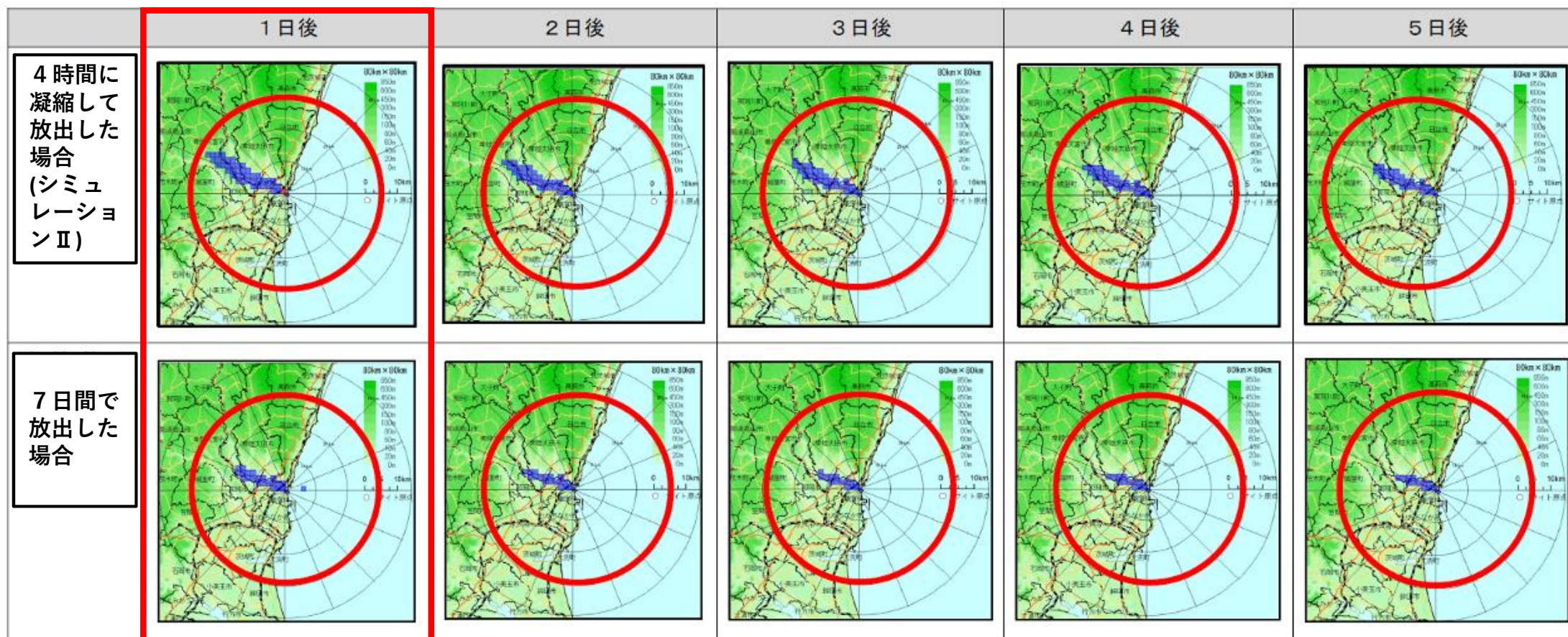


1 放出時間設定による比較（7日間・4時間）

下段：Cs-137放出量430TBqを7日間で放出する設定とした場合

上段：Cs-137放出量430TBqを4時間に凝縮して放出すると仮定して設定した場合（シミュレーションⅡ）
→ **【30km周辺まで一時移転対象区域が生じる】**



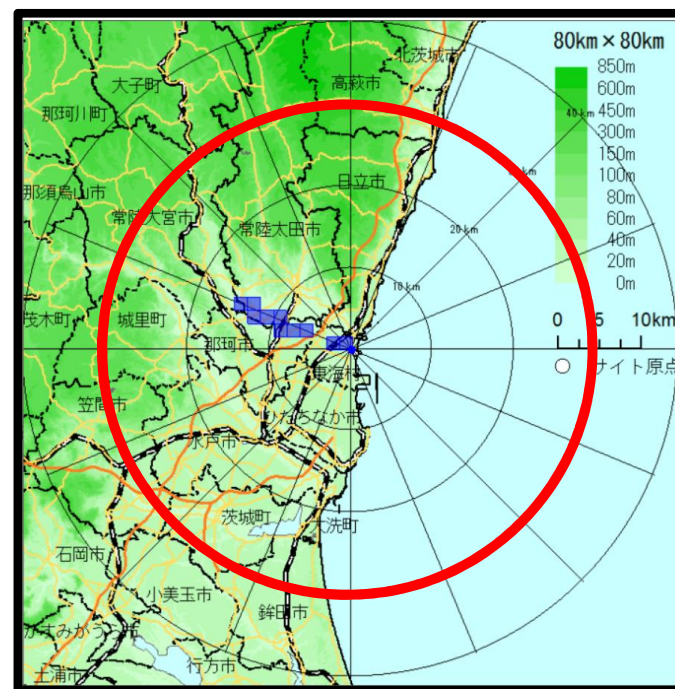
2 Cs-137放出量設定による比較 (430TBq・100TBq)

「原子力災害事前対策の策定において参照すべき線量のめやすについて」(平成30年10月17日 原子力規制委員会)において、「事前対策において備えておくことが合理的であると考えられる事故」は、「適合性審査において評価された重大事故シナリオを超えるCs-137の放出が100TBqに相当するもの(ただし、希ガスは全量放出)」とされていることから、比較のためCs-137放出量を100TBqと設定した場合の評価を実施。

Cs-137放出量430TBqの場合の24時間後の
一時移転対象区域 (シミュレーションⅡ)



Cs-137放出量100TBqの場合の24時間後の
一時移転対象区域 (追加で実施)

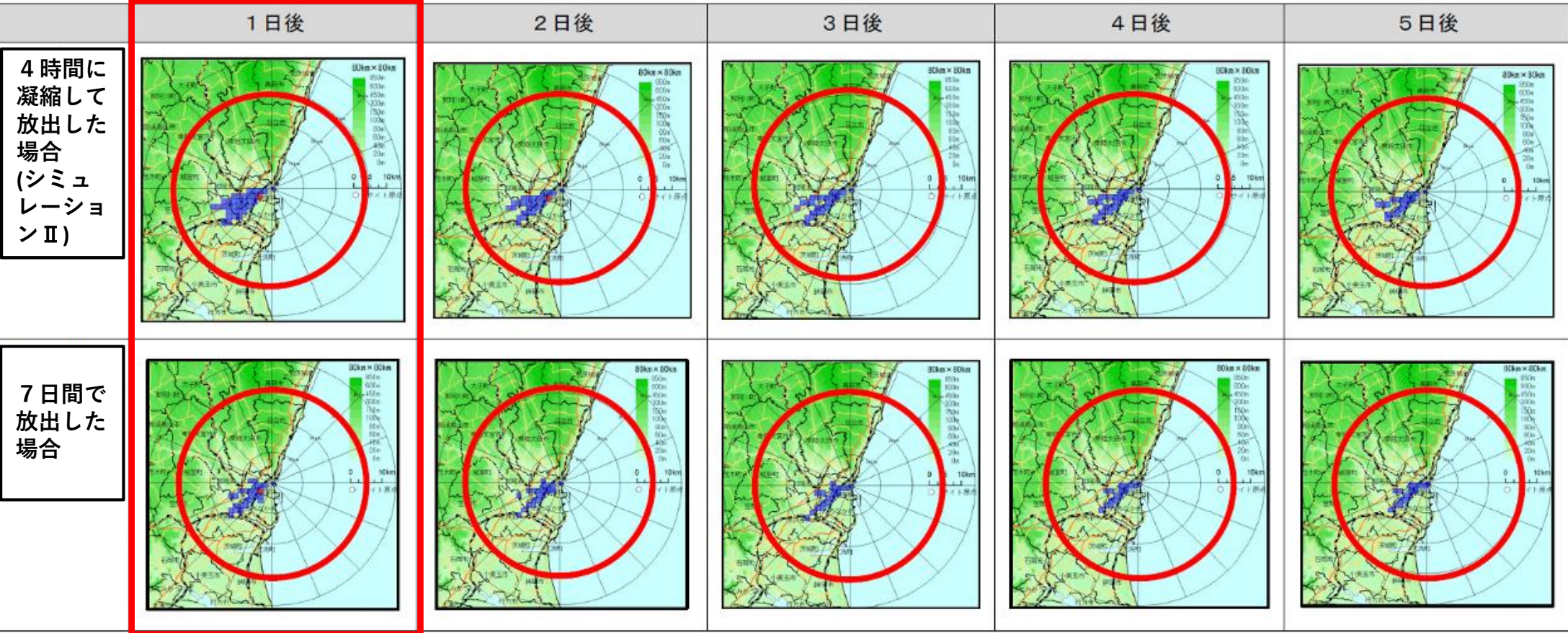


避難・一時移転対象区域の大きさの比較（南西方面・気象条件②）

1 放出時間設定による比較（7日間・4時間）

下段： Cs-137放出量430TBqを7日間で放出する設定とした場合

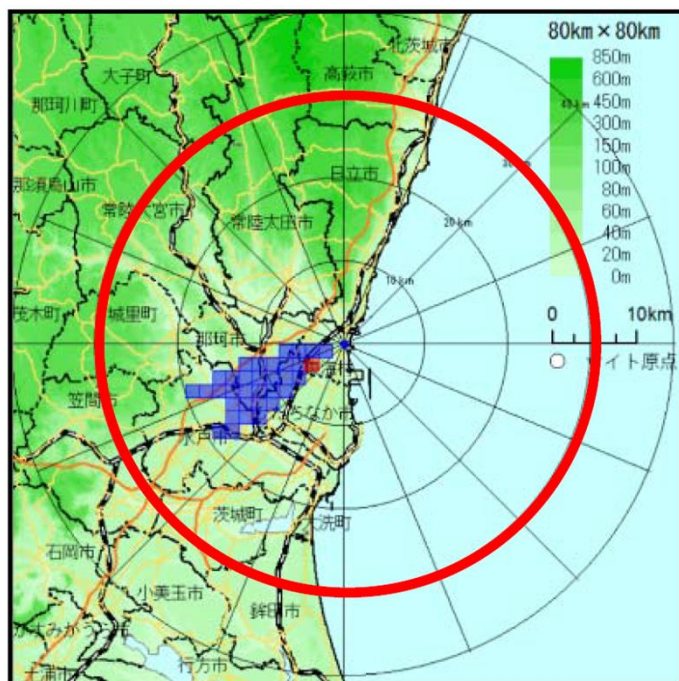
上段： Cs-137放出量430TBqを4時間に凝縮して放出すると仮定して設定した場合（シミュレーションⅡ）
→ **【30km周辺まで一時移転対象区域が生じる】**



2 Cs-137放出量設定による比較（430TBq・100TBq）

「原子力災害事前対策の策定において参照すべき線量のめやすについて」（平成30年10月17日 原子力規制委員会）において、「事前対策において備えておくことが合理的であると考えられる事故」は、「適合性審査において評価された重大事故シナリオを超えるCs-137の放出が100TBqに相当するもの（ただし、希ガスは全量放出）」とされていることから、比較のためCs-137放出量を100TBqと設定した場合の評価を実施。

Cs-137放出量430TBqの場合の24時間後の
一時移転対象区域（シミュレーションⅡ）



Cs-137放出量100TBqの場合の24時間後の
一時移転対象区域（追加で実施）

